



日本と東南アジアのダンサーが東京に集結！

DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018

開催迫る！

◆2018年3月23日（金）～25日（日）◆

東京芸術劇場シアターイースト（東京都豊島区西池袋 1-8-1）

公演終了後、演出家・クリエイターによるアフタートークの開催が決定

— 黄帝心仙人作品の15秒PVが3月18日から渋谷大型ビジョンで放映 —

— オフィシャルウェブサイトのコンテンツもさらに充実 —

株式会社パルコと国際交流基金アジアセンターが共催する、日本と東南アジアを代表するストリートダンサーの共演「DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018」（「ダンス・ダンス・アジア ～クロッシング・ザ・ムーヴメンツ～ 東京公演 2018」）がいよいよ2018年3月23日（金）～25日（日）の3日間、東京芸術劇場シアターイースト（池袋）で開催されます。

今回の公演で披露されるのは、Vince Mendoza（ヴィンス・メンドーザ / フィリピン）の『Hilatas <君を導く光>』（DANCE DANCE ASIA 東京公演 2016 で好評を博した同名作品の長編化作品。ピナ・パウシュ ヴッパタール舞踊団出身の世界的なダンサー・振付家で、日本の演劇界にも繋がり深い Fabien Prioville（ファビアン・プリオヴィル）が、振付/演出補佐ドラマトルクとして参加）、黄帝心仙人（こうていせんじん / 日本）の『宇宙-Space-』（様々なジャンルで活躍中の放送作家、鈴木おさむ氏が脚本を、出演ダンサーのひとりでもあるシンガポール出身の ZAIHAR（ザイハー）が振付補佐を担当）、そして Hamdi Fabas（ハムディ・ファバス / インドネシア）の『Soul Train』（Hamdi の右腕として活動している Steven Russel（スティーブン・ラッセル）を振付補佐に起用）の3作品。日本、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、シンガポール、マレーシアから気鋭のダンサーが出演します。

黄帝心仙人の『宇宙-Space-』をフィーチャーした15秒PVが、3月18日(日)より渋谷大型ビジョンで放映、さらに過去の作品や活動も含めた、動画アーカイブもオフィシャルウェブサイトで一挙公開します。



- kouteisennin uchu15s forSHIBUYA <https://youtu.be/oZI0yATqYIk>
- kouteisennin uchuMV forYouTube 02 <https://youtu.be/BJYTtmw72aA>
- DDA オフィシャルウェブサイト <http://dancedanceasia.com/>

さらに、演出家・クリエイターによるアフタートークの開催が決定しました。公演終了後、以下の日程で制作秘話や作品に込めた想いなどを演出家自身が解説します。このアフタートークは、各開催日の公演チケットをお持ちの方が自由に参加できるプログラムです。

3月24日(土) 13:00 公演

Vince Mendoza (ヴィンス・メンドーザ) x Fabien Prioville (ファビアン・プリオヴィル)

3月24日(土) 18:00 公演

黄帝心仙人 (こうていせんになん)ほか

3月25日(日) 13:00 公演

Hamdi Fabas (ハムディ・ファバス) x DJ Hiroking (DJ ヒロキング)

* 登壇者が変更になる可能性もあります。

DANCE DANCE ASIA は、舞台芸術の「新しい表現手法」としてここ数年来、高い関心が寄せられているストリートダンスを軸としたパフォーマンス作品を制作するプロジェクトです。プロジェクトの実施を通して、アジア域内の交流促進と新たな文化の創造を目指すべく、2014年にスタートしました。2015年から2017年まで東京および東南アジア各地で公演を重ね、国内外の様々なメディアで取り上げられるなど、意欲的な作品発表と文化交流の場は年々注目を集めています。パフォーマンスの新たな頂きと文化交流の最新ムーブメントを是非劇場でご覧ください。

* * *

■ 報道に関するお問い合わせ バブリシティ担当: 左近充 (サコンジュウ)

TEL: 090-8026-1390 Mail: h.sakonju@prime-jpn.com

■ 公演に関するお問い合わせ (株)パルコ エンタテインメント事業部 担当: 中西 TEL: 03-3477-5857

DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 東京公演 2018 作品概要

● Hilatas〈君を導く光〉

振付・演出：Vince Mendoza（ヴィンス・メンドーザ）（フィリピン）

振付/演出補佐 ドラマトウルク：Fabien Prioville（ファビアン・プリオヴィル）（フランス）

出演：Bboy Allen（フィリピン）、Bird（シンガポール）、Khenobu（マレーシア）、松田尚子（日本）、Rhosam V. Prudenciado Jr. “Sickledsam”（フィリピン）、Salt（インドネシア）



● 宇宙-Space-

振付・演出：黄帝心仙人（こうていせんになん）（日本）

脚本：鈴木おさむ（日本）

振付補佐：ZAIHAR（ザイハー）（シンガポール）

出演：James Wong（フィリピン）、Miyu（日本）、Pythos Harris（インドネシア）、You Kaneko（日本）、ZAIHAR（シンガポール）



● Soul Train

振付・演出：Hamdi Fabas（ハムディ・ファバス）（インドネシア）

振付補佐：Steven Russel（スティーブン・ラッセル）（インドネシア）

DJ：DJ Hiroking（日本）

出演：B-boy Cheno（タイ）、KATSUYA（日本）、Le Huu Phuoc（ベトナム）、NOVIE ONE（インドネシア）、TECCHY（日本）



公式ウェブサイト <http://dancedanceasia.com/>

【公演日程】

2018年3月23日(金)~3月25日(日)

※各回とも3作品全ての上演となります。

3月	23	24	25
	金	土	日
13:00		○	○
18:00		○	
19:00	○		

【会場】

東京芸術劇場 シアターイースト (東京都豊島区西池袋 1-8-1)

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分
駅地下通路2b出口直結

【チケット料金】

一般 3,500円 (全席指定・税込)

※ご同伴のお子さまの割引販売がございます。(2,000円/3歳以上小学生まで)

学生 2,500円 (全席指定・税込)

※大学生・専門学生・中高生の方対象。

※当日、入場時に学生証をご提示ください。

※お一人様につきチケット1枚が必要です。

※3歳未満のお子様のご入場はお断りさせていただきます。

※営利目的の転売禁止。

※車イスでご来場予定のお客様は、ご購入の席番号を公演前日までに
パルコステージ宛にご連絡ください。

【お問い合わせ】

パルコステージ

Tel.: 03-3477-5858 (月~土 11:00~19:00/日・祝 11:00~15:00)

<http://www.parco-play.com/>

チケット取扱い案内 ◆◆チケット発売中◆◆

- パルステ！（スマホアプリ）

で検索！

- チケットぴあ

<http://w.pia.jp/t/dda/>

0570-02-9999（Pコード：482-738）

セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗

- ローソンチケット

<http://l-tike.com/dda/>

0570-08-4003（Lコード：34921）

0570-00-0407（オペレーター対応）

ローソン、ミニストップ店内 Loppi

- イープラス

<http://eplus.jp/dda/> ファミリーマート店内 Fami ポート

- 東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296（10:00～19:00 休館日除く）

※窓口販売有り

<http://www.geigeki.jp/ti/>（パソコン） <https://www.geigeki.jp/i/t/>（携帯）

※グループ観劇（8名様以上）予約受付中！ 詳細はパルコ・ステージまで。

<託児サービスのご案内>

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。

（有料・定員制・希望日1週間前迄に要申込）

- ご予約受付・お問合せ

HITOWA キャリアサポート株式会社 わらべうた

0120-415-306（平日9:00～17:00）

<http://www.geigeki.jp/rent/kids/>

Vince Mendoza (ヴィンス・メンドーザ) (フィリピン)

振付・演出

ダンサー、振付家。UK B-Boy Championship Poppin' フィリピン代表。2016年にハンガリーの Get Down Poppin'、ベトナムの Together Time オールスタイルで優勝。同年、香港で開催された SDK ASIA 2016 で「TEAM X」として優勝。ユニット「Prince&Vince」で2010年、2012年、2016年の Juste Debout に参加。ラコステ、ディーゼルなどのショーやMV、CMなどの振付を多数手がける。2015年、「Philippine Allstars」のメンバーとして来日し、DANCE DANCE ASIA 東京公演に出演。2016年12月には DANCE DANCE ASIA 東京公演にて自身の振付・演出作品『Hilatas<君を導く光>』を初演、2017年4月にはハノイ(ベトナム)・マニラ(フィリピン)公演で同作を再演した。



Fabien Prioville (ファビアン・プリオヴィル) (フランス)

振付 / 演出補佐 ドラマトゥルク

ダンサー、振付家。フランスの Centre National de Danse Contemporaine (CNDC) 卒業後、デヴィッド・ボウイ、フランク・ザッパなどのロックミュージシャンとのコラボレーションで知られるカナダの「ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス」での活動を経て、1999年に「ピナ・パウシュヴッパタール舞踊団」のメンバーとなる。2006年からフリーランスダンサー、振付家として活動。2010年には「ファビアン・プリオヴィル・ダンス・カンパニー」を設立。2017年9月に上演された演劇集団円の『DOUBLE TOMORROW』では構成・演出を務めた。



黄帝心仙人 (こうていせんになん) (日本)

振付・演出

ダンサー、振付家、クリエイター。ロボットの動きを取り入れた人間離れたボディコントロールと、詩的なストーリーによって生み出される作品で、世界屈指の数々のダンスコンテストでの優勝、『ASIA GOT TALENT』でのゴールデンブザー、さらに自身が振付・出演したユニクロのCMが、世界三大広告賞を含めた23タイトル受賞という快挙を成し遂げ、世界で高い評価を得ている。また孫正義会長の依頼によりロボット『PEPPER』のコンテンツ開発にも関わる。DANCE DANCE ASIAでは、自らのプロデュースユニット「Time Machine」を率いて、2015年にクアラルンプール(マレーシア)とジャカルタ(インドネシア)で公演とワークショップを行い、アジアのファンから熱狂的に迎えられた。

アーティストネームの黄帝心仙人の「心」が音読されないのは、「“心”は、読めないから」。



鈴木おさむ (日本)

脚本

放送作家、脚本家。1972年生まれ。高校時代に放送作家を志し、19歳で放送作家デビュー。多数の人気バラエティーの構成を手掛けるほか、映画・ドラマの脚本、エッセイや小説の執筆、ラジオパーソナリティ、舞台の作・演出など多岐にわたり活躍。

2018年には初監督映画「ラブ×ドック」が公開予定。



ZAIHAR (ザイハー) (シンガポール)

振付補佐



1987 年生まれ、シンガポール出身。Bboy をきっかけにダンスを始め、Singapore Dance Delight のファイナリスト(2016)を始め、国内外のバトルやコンテストで活躍、振付演出も数多く手がける。音楽を自在に操る多才なプロダンサーとして、2011 年には Movement Lifestyl のショーン・エヴァリストの目にとまり、毎年サンディエゴで開催される世界最大級のコンテスト Body Rock に招待を受け、ショーケースやワークショップを行った。

Hamdi Fabas (ハムディ・ファバス) (インドネシア)

振付・演出



ダンサー、振付家。オーストラリアで育つ。インドネシアを代表するダンス・アイコン。4 年 6 ヶ月の間にインドネシアで大人気を博した 2 つの TV 番組で審査員を務める。1997 年よりアーバン・ダンス文化とエンタテインメント業界のサポートを開始。2003 年にインドネシア初のダンス・コミュニティ、Bboy Indonesia (Bboyindo) を設立。2011 年には Fabas ART Dance Productions を「P.H.A.T crew」の Sabina Jacintha とともに立ち上げる。また、自身のクリエイティブな活動と並行して、MintZ Nge-DanZe GokilZ の審査員を務めるなど、インドネシアのダンスの発展と青少年の育成にも力を注いでいる。

Steven Russel (スティーブン・ラッセル)

振付補佐



2000 年、ジャカルタでブレイクボーイのグループ「サウスガंक (South Gank)」に入り、あらゆるジャンルのバトルに参戦。2007 年、ジャカルタのダンス・カンパニーのひとつである United Dance Works (UDW) での活動を開始。プロダンサーとして国内外で活動の幅を広げている。現在、「Fabas ART Dance Productions」で振付助手を務め、振付家・コーチとしても活躍。

主催

国際交流基金アジアセンター <http://jfac.jp/>



独立行政法人国際交流基金 (ジャパンファウンデーション) は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは 2014 年 4 月に設置され、ASEAN 諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。

日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

株式会社パルコ <http://www.parco.co.jp/>



株式会社パルコが担うエンタテインメント事業は、演劇や音楽、映画、アートの分野で新しいカルチャーを積極的に紹介し、話題性の高い情報発信と付加価値の創造に取り組んでおります。2011 年からは新しいエンタテインメントとしてストリートダンス舞台公演、ASTERISK、s**t kingz、東京ゲゲゲイ、Shibuya StreetDance Week、また国際交流基金アジアセンターとの共催事業ダンス・ダンス・アジアなど話題の企画を国内外に発信しております。

※ 全てのプログラムの内容は予告なしに変更になる可能性があります。